

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	1 市政運営について 2 情報発信について	20番 菊地 忍 (1)市民意識調査を実施し、市政の課題や今後のまちづくりについてなど広く市民の意見を聞くべきと考えるがどうか。 (2)市長が各地区を直接回り意見を聞く場を設けるべきと考えるがどうか。 (3)目安箱に寄せられた意見や改善した点などを市民にお知らせすべきと考えるがどうか。 (1)市のホームページを外国人の方も利用できるよう外国語対応とすべきと考えるがどうか。 (2)市のホームページに音声読み上げサービスを導入すべきと考えるがどうか。 (3)道路や下水道などの市内の工事情報を市のホームページに掲載し、理解と協力を得られるようにすべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
2	1 聞く耳と対話のある政治について 2 市内の均衡ある発展について	14番 長南 良彦 (1)聞く耳と対話のある政治の取り組みと姿勢を伺う。 (2)近隣自治体と連携し、解決すべき喫緊の課題と方針を伺う。 (3)行政区長懇談会の充実を図り、市民に寄り添った市政運営に努めるべき。 (1)現状をどのように捉えているのか。今後の取り組み策を伺う。 (2)地域の課題を整理し、計画目標を明確にすべき。 (3)市街化調整区域における地域の活性化方策を伺う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
3	1 子ども医療費助成制度について 2 就学援助の支給時期を見直すべき 3 各種奨学金制度について	3番 齋 浩美 (1)県が拡充の方針だが、本市はどう対応するのか。 (2)通院の助成を中学3年生卒業時まで拡大し、所得制限と窓口一時負担をなくすべき。 (3)県にさらなる拡充を求め、本市として高校卒業時まで拡大すべき。 (1)今年度の支給はいつだったのか。 (2)支給時期が4月(入学式)以降になっている理由は何か。 (3)就学援助の早期支給を実現するために、就学援助申請書を早期に配布すべき。 (4)就学援助担当の専門部署(チーム)を設置し、支給事務の迅速化・効率化を図るべき。 (1)市として無利子型奨学金制度を創設すべき。	市 長 市 長 市 長 教育長 教育長 教育長 市 長 教育長 市 長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		(2)地元企業就職希望者を対象とする、地元企業振興とセットにした「奨学金返済補助制度」を創設すべき。	市 長 教育長	
4	1 市政運営方針について	9番 佐々木哲男 (1)第4回臨時会における所信表明について ①復興事業の完了の見込みを早急に精査し、復興の加速化を図るとあるが、具体的な施策について伺う。 ②大都市仙台に隣接しているメリットを活用した施策の展開とあるが、具体的な施策について伺う。 ③各種施策について、この4年間で具現化、またはある程度道筋をつけていくべき課題と、未来の名取市の骨格づくりにつながる長い目で取り組んでいくべき課題に整理をして進めたいとあるが、各々の具体的な施策について伺う。 (2)選挙公約について ①「聞く耳」と「ビジョン」のない名取市政の流れを変えるとあるが、みずから描いた「ビジョン」について伺う。 ②市内の均衡ある発展を目指すとあるが、施策において「均衡」をどのように定義づけするのか伺う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 子育て支援について 2 読書環境の整備について	4番 菅原 和子 (1)子ども医療費助成制度の対象年齢を通院も中学3年生まで拡大すべきと考えるがどうか。 (2)小児インフルエンザ予防接種事業に取り組むべきと考えるがどうか。 (1)新図書館に読書意欲をかき立てるために読書通帳機を設置すべきと考えるがどうか。 (2)ブックスタート事業を始めるべきと考えるがどうか。	市 長 市 長 教育長 市 長	
6	1 女性の再就職支援と雇用の促進について 2 施設の利用しやすい環境整備について	1番 大泉 徳子 (1)子育て中や、子育て時期を終えた女性の再就職活動への支援の現状は。さらなる支援強化に取り組むべき。 (2)求人や保育施設の状況、資格取得など、再就職を希望する女性が必要とする情報をワンストップで提供できるよう、名取市地域職業相談室の機能強化を図るべき。 (3)女性の雇用拡大と安定のために、市内の企業に対し本市独自の「(仮)女性活躍加速化助成金」を創設すべき。 (1)健康寿命を延ばす観点から、スポーツ施設の利用について、高齢者が利用しやすい環境整備を図るべき。(専属トレーナーの配置、減免制度の弾力的運用等)	市 長 市 長 市 長 教育長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
7	1 空き家政策となっている市営住宅の管理について	18番 山口 實 (1) 空き家政策中の市営住宅3団地（柳田・諏訪・名取）が、平成25年度に策定された公営住宅等長寿命化計画で用途廃止に決定されたが、管理状況と今後の対応について計画を伺う。 (2) 建てかえ計画のない用途廃止により、国から解体費用の補助が受けられないと聞く。莫大な解体経費が必要となることから、団地内の土地を一部売却し経費に充てる方策も考えるべき。また、解体に当たっての諸問題をどのように捉えているのか。 (3) 本市は県下有数の文化遺産に恵まれた歴史のあるまちである。解体後の土地利用については歴史資料館等を建設し、名取の文化・歴史を市内外にPRし、継承すべきである。見解を伺う。	市長 市長 市長 教育長	
	2 市民と共生する「まち」づくりについて	(1) 市を代表する市民歌・市花・市木が市政運営の中で、どのような役割を果たすべきか所見を伺う。 (2) 市政施行20周年時に制定された市花・市木であったが、市花（ハナモモ）のイメージが市民の間では希薄に感じられる。市を代表する花として、市民に親しまれる工夫を積極的に講じるべき。	市長 市長	
8	1 広域連携と市町村合併について	5番 吉田 良 (1) 本市を対象としたこれまでの合併論議と、今後の広域連携及び合併の展望について考えを伺う。 (2) 現行の合併特例法の目的を受け、本市でも自主的な市町村合併の検討に移るべき。 (3) 広域連携の拡大や市町村合併による効果、変化などを調査研究する部門を市役所内に設け、地域の将来を判断するための情報を市民に提供すべき。	市長 市長 市長	
	2 歴史・文化的資源の保存と活用について	(1) 地域の先人が守り継いできた貴重な無形民俗文化財を今後どのように後世に継承していくべきかについて考えを伺う。 (2) 郷土にゆかりのある無形民俗文化財に触れる機会を各小中学校で拡大し、児童生徒の郷土への愛着と知識を一層向上させるよう取り組むべき。 (3) 無形民俗文化財を観光資源として活用する未来像を描くとともに、保存活動が経済的に自立できる支援のあり方を検討すべき。	市長 教育長 市長	
	3 道路の安全性と利便性の向上について	(1) 白線やデリネーターを計画的に点検し、補修が必要な箇所は順次対処すべき。 (2) 自転車や車椅子の利用者も安全に通行できるようにするため、マウンドアップ方式の歩道がある地域の現状を調査し、改善を図るべき。 (3) 歩行者事故の危険性が高い交差点は、路面のカラー化や段差舗装の設置を進めるべき。	市長 市長 市長	
9		6番 荒川 洋平		

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	1 東日本大震災からの復興について	(1)東日本大震災からの本市のこれまでの復興について、市長はどのように感じているのか伺う。 (2)所信表明の中で「スピードアップしていく」「加速化を図る」と発言されたが、これからの復興をどのように進めていくのか。 (3)選挙公約の中で「閑上へ戻れない人が安心して暮らせる住まいの確保」とあったが、その具体的な内容について伺う。 (4)被災市街地復興土地区画整理事業、復興公営住宅建設は被災者の生活再建に直接かかわることに加え、持続可能なまちづくりの根幹とも言える事業である。これらの事業を計画変更などでおくらせることのないよう進めるべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
10	1 市長の選挙公約について	8番 小野 泰弘 (1)ごみ最終処分場建設は何が原因で進まないのか。どのように問題の早期解決を図るのか。 (2)名取市子ども子育て支援事業計画によれば、私立幼稚園に対し認定こども園への移行についての適切な情報提供と必要な支援に努めることになっている。公設で認定こども園を整備する理由は何か。 (3)公設認定こども園の整備に必要な用地費、施設整備費、運営費の財源を確保できるのか。 (4)本市の平成27年度学校給食費収納率が99.43パーセントに達している現状にあって無料化を進める意義は何か。 (5)学校給食費を無料化するための財源約3億8,700万円の見通しをどう捉えているのか。 (6)仙台空港アクセス線の常磐線接続を目指す理由は何か。 (7)仙台空港鉄道株式会社は赤字が続いている。巨額の建設費用を要する仙台空港アクセス線の常磐線接続をどのように実現するのか。 (8)選挙公約とは、選挙の立候補者が当選後に実施すると有権者に約束する事柄である。市長の選挙公約には、内容が明確でないもの、財源の裏づけが乏しい事業、市の所管外の事業が含まれることから、財源に基づく具体的内容と任期中の達成目標を市民に示すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
11	1 応急仮設住宅居住者の課題について	11番 及川 秀一 (1)応急仮設住宅であるプレハブ仮設住宅、雇用促進住宅団地愛島宿舎、県営住宅及び民間賃貸住宅の現在の入居者数・世帯数を伺う。あわせて、災害公営住宅（高柳地区及び閑上地区第1期戸建て住宅）完成時点での入居者数・世帯数をどのように捉えているか。 (2)復興住宅への居住が進み、プレハブ仮設住宅などのコミュニティ維持や自治会運営などの担い手不足の対応を急ぐべき。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 名取スポーツパークの再開について	(3) 居住者の転居により、コミュニティー維持のため、入居率などを考慮し仮設住宅は集約など早急に対策を講ずるべき。 (1) 施設復旧に向けた本市の取り組みの現状と対応は。 (2) 名取市のリーダーシップで、東北電力に対し、宮城県などと総力で再開を働きかけるべき。	市 長 市 長 教育長 市 長 教育長	
	3 閑上小・中学校の再建について	(1) 閑上小中一貫校再建に向けて、9年間の教育課程をどのような教育活動にしていくのか。地域とともに歩む学校として、「閑上学」をどのような特色のある教育と位置づけるのか。 (2) 各種団体などと連携し、ふるさと教育の時間を創設し、故郷を愛する心を醸成するふるさと教育の充実を図るべき。 (3) 教育委員会・各企業団体・商工会・関係当局など協働でキャリア教育推進に取り組むべき。	教育長 教育長	
	4 空港民営化と観光政策について	(1) 仙台空港が民営化されスタートしたが、名取市第五次長期総合計画の中で活力と交流に満ちた都市の創造として、観光資源のPRや有機的な連携のしかけづくり、日帰り周遊型観光などどのような取り組みを行ったのか。また、観光客の受け入れ態勢や観光協会・文化協会などとの連携で、戦略的な観光の推進にどのように取り組んできたのか、その現況を伺う。 (2) 仙南市町と連携し、ワーキンググループを組織し、空港民営化を活用した観光政策の推進に取り組むべき。	市 長 市 長	
1 2	1 名取市の将来像と公約について	17番 丹野 政喜 (1) 市長選挙公約から「ごみの最終処分場建設問題の早期解決を」と「地下鉄の南進とアクセス鉄道の常磐線接続を」について伺う。 ①「ごみの最終処分場建設問題の早期建設を」と公約で掲げた市長（管理者）としての解決策とは何か。 ②これまでの亘理名取共立衛生処理組合の流れをどのように捉え、管理者会でどのようなリーダーシップを発揮する考えか。 ③市長就任後、最終処分場建設問題で管理者会での進展はあるのか。市長は管理者として候補地（案）を持っているのか。 ④公約として掲げた、仙台市地下鉄の南進とそれに伴う熊野堂地区の新しいまちづくり構想とは何か。 ⑤地下鉄の延伸をどのように具体的に進める考えか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
		⑥上位計画との整合を図るべき。長期総合計画、土地利用計画の見直しはあるのか。 ⑦仙台市との合併という考えも視野にあるのか。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
		⑧地下鉄延伸とそれに伴う新たなまちづくりの骨子案を早急に議会に示すべきだと考えるがどうか。 ⑨市長にとって公約とは何か。公約実現に向けての決意を伺う。	市 長 市 長	
1 3	1 市長の選挙公約について	7番 大友 康信 (1)名取スポーツパークの活用について ①誰のために、何を、どのように活用しようと考えているのか、目的と目標を伺う。 ②いつまでに実現させたいのか。 ③運営は誰が担うのか。 ④現状からの復旧と維持管理について、予算と財源についての見直しはあるのか。 ⑤現在使用しているスポーツ施設の改善と改修、または充実させることを優先すべき。 (2)復興の見直しについて ①現在進めている復興について、何をどのように見直しするのか。 ②復興のスピードを加速させる努力はこれまでも尽くしてきたと思われるが、さらなる方策があるのか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
1 4	1 公営住宅の建設で活気あるまちづくりについて 2 安心安全、障がい者、高齢者に優しいまちづくりについて	1 2番 大沼 宗彦 (1)入居希望者が多い県営・市営住宅の現状を把握し、市営住宅の建設は必要だと認識すべき。 (2)2012年12月定例会で全会一致で採択された「名取市営住宅の早期建設を求める請願」をどう生かそうとするのか。 (3)子育て世代、働き世代、高齢者が暮らしやすく、政令指定都市仙台の隣接市として、公営住宅の需要が多い中で、名取団地の建設を再開すべき。 (4)被災地閉上に戻りたくない、住みたくないと思っている方々の声に応えるため、名取団地の建設を決断すべき。 (5)老朽化した小豆島団地は長寿命化にも限界がある。建てかえ時に活用できる名取団地の建設を再開すべき。 (1)総合南東北病院までの市民バスなとりん号の延伸を、岩沼市と協議して実現すべき。 (2)愛島台・愛島～名取が丘～最寄り駅・館腰駅までの市民バスなとりん号の通勤・通学の午前中と夕方の時間帯に運行すべき。 (3)子育て世代、障がい者、高齢者に優しい駅として、館腰駅にエレベーターを設置すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
	3 公務労働者を取り巻く環境について	(1)公務労働者の非正規雇用、嘱託職員、臨時職員の待遇改善を図るべき。 (2)公務労働者の不安定雇用につながるため、嘱託職員の採用期間を設定しないこと。	市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求 め る 者	備 考
	4 男女共同参画社会の実現について	(3)公務労働者の最低賃金アップ、同一労働・同一賃金の改善を進めるべき。 (1)公務労働者の男性職員の育休取得状況の実態と改善に向けた対策を伺う。 (2)公務労働者の男女別の残業の実態を伺う。 (3)子育てや家事労働を分担できるようにするための残業ゼロに向けた対策を伺う。 (4)職場近隣の保育所の設置を進め、待機児童ゼロを実現すべき。 (5)管理職の男女比率の動向と課題をどのように捉え、改善しようとしてきたのか取り組みを伺う。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
15	1 市長の政治姿勢について 2 選挙公約について、市民への説明責任を果たすべき 3 子供の貧困施策について	2番 大久保主計 (1)公開討論会を断り、政策論争を避けた市長の政治姿勢を問う。 (2)「市政の流れを変える」と「聞く耳と対話のある市政」についてわかりやすく説明し、今後4年の任期の中で、どのような課題にどのように取り組んでいくのか明らかにすべき。 (1)地下鉄南進という選挙公約を掲げた市長の責任と、今後の政策的な取り組みについて伺う。 (2)選挙公約は何を目指し、なぜそれを実施するのか、どのように実施するのか。公約実現に向けた今後の取り組みを明らかにし、その事業評価を行うなど、選挙公約の市民への説明責任を果たすべき。 (1)就学援助費（新入学学用品費）の入学前支給に取り組むべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 教育長	
16	1 市長選挙公約等全般について	16番 小野寺美穂 (1)公開討論会を行わなかったのはなぜか。 (2)公の場で、公約や争点を明らかにし、有権者に訴えるべきではなかったのか。 (3)これまでの復興のあり方について、見解を伺う。 (4)復興も含め、前市政推進の立場であったと認識しているが、矛盾しているのではないか。 (5)特に復興計画について、市議会議員時代の可否の態度に責任を持つべき。 (6)地下鉄延伸について、事業の現実性をどう捉えているのか、基本的な考え方を伺う。 (7)地下鉄熊野堂駅とあるが、どのような構想なのか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
		(8)名取スポーツパークは市の所有する施設ではないが、その活用とはどのような内容か。 (9)公共施設等総合管理計画との関係はどうなるのか。	市 長 市 長	